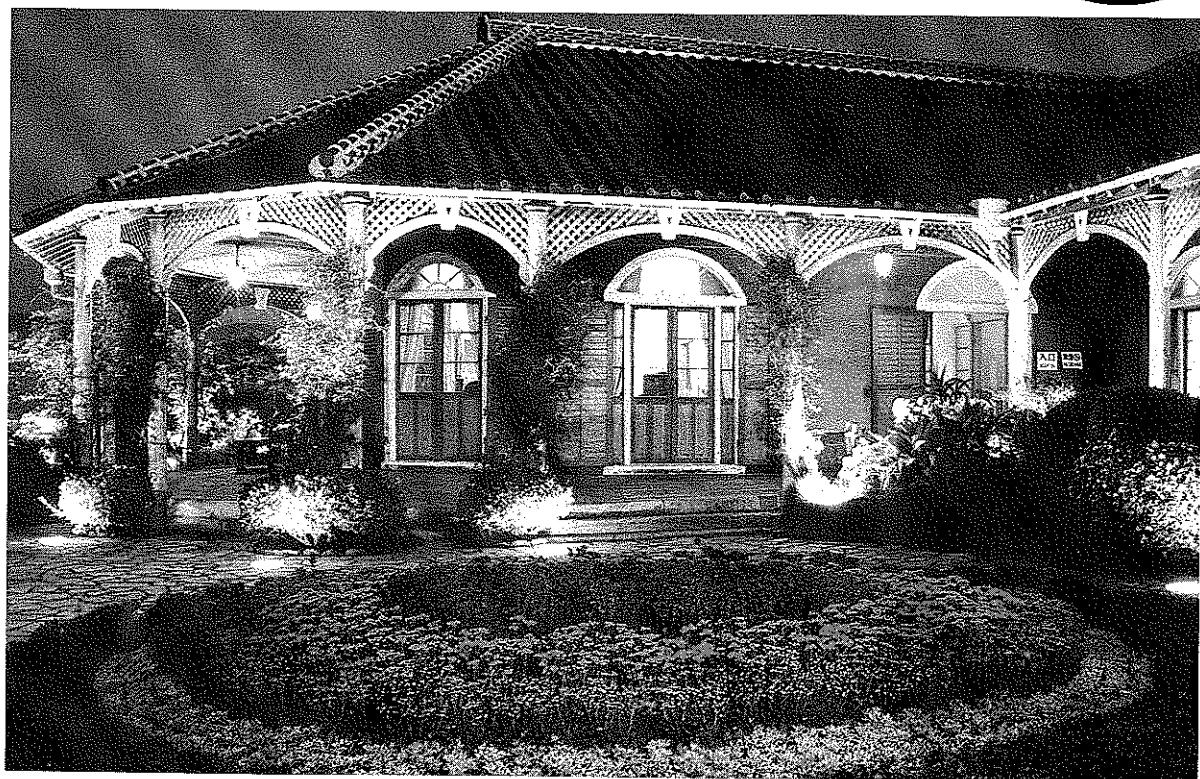


# NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION 30<sup>th.</sup> ANNIVERSARY

共に夢を語り合い自信を持って行動しよう

# 8



10月10日までライトアップされているグラバー園

社団法人 **長崎青年協会**

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階 会長 和田正信 編集●広報委員会 広報委員長 野島徹也

# 会長あいさつ

会長 和田 正 信

今年度スローガン 「共に夢を語り合い自信を持って行動しよう」



会員の皆様、夏も本番となり毎日暑い中お仕事並びに協会活動と大変お疲れ様です。

7月26日に行われました「ながさきみなとまつり」は雨の為、一日順延となり担当委員を始め、各委員の皆様には、ご苦勞をおかけした事と思います。しかし、協会の予定としていた海上でのイベントもすべて無事終了する事ができたことを大変喜ばしい事と思います。

みなとまつりの中で一番感じた事は会場の近くの海岸にうち上げられた沢山のゴミの山。その光景を見た時に我々協会の長崎港へのこだわりを痛感いたしました。又、協会員一人一人が何も言わずにただ、ひたすらと清掃する姿をかいまみ、この姿こそが協会の本当の姿そのものだと感動し、改めて協会の事が好きになりました。

さて、協会の夏の事業も本格化してまいります。8月には、長崎の未来を背負っていく子供達に日頃体験する事のできない体験をしていただき、協調性やリーダーシップなどを学んでいただく、青少年育成事業「サマーキャンプ'98」を30周年記念事業の一つとして行います。

そして、協会の年に一度の全体研修においては活発な意見を語り合い、各自のスキルアップに努めてもらいたいと思います。

協会の皆様には、お忙しい事と思いますが、是非、ご協力、ご出席の程、宜しく願いいたします。

## 100%例会を終えて



去る7月23日に、本年度はじめての100%例会を開催させて頂いたところ全会員100名中75名の出席を頂き、まずは会員の皆様にお礼を申し上げます。

普通ですと、講師の方をお招きして講演をして頂くという形式でしたが、今回は委員会の意向で、出席して頂いた方全員に喋って頂くという意味で委員会対抗の「ディベート大会」を開催させて頂きました。



会員の皆様には「インフォメーション・電話」等でしつこくお誘いさせて頂きましたが、いつもでは見られない顔もあり、委員会メンバーの疲れが癒されました。

ディベート中では、「禁句ワード」なるものを設定し、それをクリアーする方、思わず口走る方、いろいろなハプニングもおこり、楽しんで頂けたような気がします。

せっかく「例会」に来たのだから何か一言でも「喋って頂く」、本年度総務・例会委員会のテーマです。今後もこういった企画ができれば皆様に提供させて頂きたいと思っております。

## 2次懇親会：「ぐるめ懇親会 in JUNE」



暑い暑い真夏の平成10年7月23日の木曜日、今年度初の「100パーセント例会」が行われました。主に今回の例会は大多数の出席者で熱い熱い「大討論会」が行われ、会員の方々は喉も渇く程の厚い厚い内容の議論を交わしていました。そこで今月の2次懇親会はそれを見透かしていたかの様にビア・ガールを呼び、もといビア・ホールを会場として選択しました。その場所は元船町「平安閣シティー・ホール」です。例会が終わり、体中の水分を出し尽くす位に討論を

しあった会員方はその喉の渴きを潤すが為か、会場へ直行(すぐ近くに有るだけだっ!)しました。会場内では「ビールはまだか!」とビールを求める会員達のコールの中、ビールが配られ、地島企画室長の乾杯の音頭で2次懇親会を開始しました。

討論でおなかが空いたのか料理は見る間に無くなり、皆さんガツガツと、またビールをガバガバと飲み食いの様子が伺われました。料理はバイキング方式でしたが美味しそうな物は瞬く間にお皿ごと無くなり他の方に行き渡る事が出来ない始末に。この辺りの貧欲さは、次回以降の2次懇親会には対策を考慮しなければと思われる程でした。まあ皆さん、あの討論の激烈な様子とは裏腹に仲良く楽しく和気藹々に懇親していた様です。喉の渴きとおなかが満たされた頃に、締め音頭を地域活性委員会の櫻井30周年担当員にお願いし週末から始まる「ながさきみなとまつり」の「皆でがんばろう!」との声のもとに懇親会を終了しました。次回の2次懇親会は8月に例会が無い為にまだ決めてはおりませんが8月末の「全体研修」の懇親会で皆でおおいに語り合しましょう。また、9月の例会は「夫婦同伴例会」ですのでそれに見合った会場選択と企画を考えたいと思いますので、次回はご夫婦揃っての参加を是非、宜しくお願いします。

by 真似合通垢・I

## ながさきみなとまつり'98 開催



ピラ配り用看板作り



街頭ピラ配り

昨年に引き続き、今年のみなとまつりも天候に恵まれなかった。25日(土)に予定されていたイベントは、すべて翌26日(日)に順延され、我々NYAが担当する海上イベントは、ペーロン大会やダンスコンテストと同時進行という、つらい状況での開催となってしまった。

今年は、4回目を迎えすっかり恒例となったターザンコンテスト、タートルアドベンチャーとその名も新しく復活した親子ボートレース、そして新企画のシーウォーズ海上綱引き大会の豪華3本立て。しかもターザンコンテストはなんと飛帆の後部(海上7.5メートル)からのジャンプ!! 開催場所も松ヶ枝から常盤の方へ移り、すべてが新しくなって感が強かったのだが、天候は回復しきっておらず、順延でスケジュールが変更されたこともあり、競技の出場者の確保や準備等が心配された。

それでもなんとか出場者の頭数をそろえ、全競技無事終了することが出来たのは、やはり担当委員会をはじめ、現場スタッフの努力のたまモノではないかと思う。また、奇抜なコスチュームやユニークなパフォーマンスで競技

を盛り上げてくれた出場者の皆さんと、準備不足の状況にも臨機応変に対応してくれたMCのお二人にも心からお礼を申し上げたい。

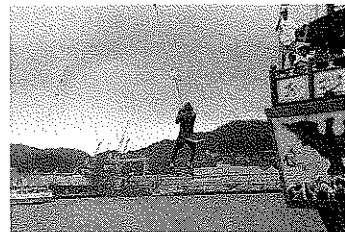
さて、取材中、気になった点がいくつかあったのでこの場で触れておく。まず、新企画のシーウォーズだが、ジャッジの方法にあいまいな感じがした。初めての企画なので仕方がないのだろうが、今後も継続するのであれば、出場者が不満に感じないジャッジの方法を検討する必要がある。あるいは、ルール自体をもう少し煮詰めてみてはどうだろうか。競技自体は、面白いという声が多かった。

それから、各競技に重複してエントリーしている選手の扱い方であるが、仮に同じ選手が2つ以上の競技で優勝ないしはそれに近い成績をとった場合、いわゆるダブルになったらどうするのか、という点。それはそれでかまわない、という意見もあるだろうが、高額賞品の独占というのはいかなるものか。

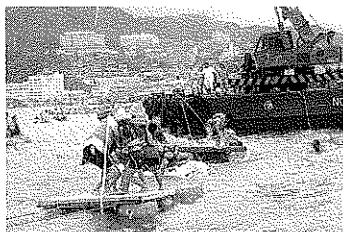
最後にもう一点。今回のみなとまつりに関して、かなり早い時期から感じていたのだが、どういう訳だか、プロジェクトの中で、うまく意志の疎通がはかられていなかったのではなかっただろうか。それは24日(金)の会場設営、26日(日)本番の時にも強く感じた。全体事



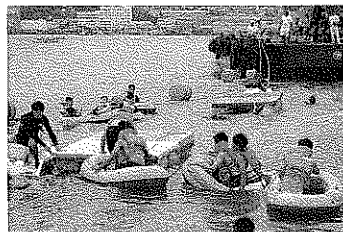
飛帆よりジャンプ



ターザンジャンプ



シーウォーズ



タートルアドベンチャー

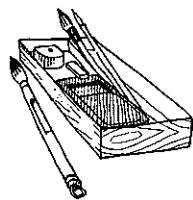
業では当日だけ参加する会員も沢山いる。そのスタッフを上手に動かすためには、各セクションの責任者がしっかりした指示を出さなければならない。そのためには責任者どうしが綿密なコミュニケーションをとる必要がある。そこにはじめてイベントの全体像が浮かび上がるのである。

## ＜そんな男のひとりごと ー花火の巻ー＞

花火を見るのにも、ルールというか、コツというか、そんなものがあるようだ。まずは、見る場所である。これはあきらかに風上ないしは横から見るのがよしい。私は今回はからずも風上と風下の両方から見物させてもらったのだが、風下の場合、煙が邪魔になって、花火そのものがよく見えない。おまけになんだか灰みたいなのがパラパラ降ってくる。それでも折角だからと目をこらして上空を見つめていたら、その灰みたいなのが目に入ってしまった。たかが灰と思ってたら大間違い。この花火のカスみたいなのやつは目に入るとやたらめったらシミるのである。とてもではないが目をあけてなんか見られない。『そうか、きっとこの灰には、花火の火薬がなんでの成分が残っててそれが燃えて酸化して刺激性の強い物質に変化したものが…』などと考えてひどく心配になる。タオルで目をおさえ、うつむいて苦しんでいる。横では山室氏が『お～、すごいすごい!!』と無邪気に喜んでいる。『ちきしょーっ。なんでオレだけこんな目にあわなきゃなんだよ～!』と思っている間に花火は佳境をむかえた。風下で油断して見ているとこんなこともあるので注意が必要である。

さて、もうひとつ意外に面白かったのは、花火を見物している人の表情である。私は花火が上がっている最中に会場の端から端まで移動したのだが、その間ずっと見物人の顔ばかりながめていた。山室氏ではないけれど、誰もが皆、実に無邪気な顔をしている。オジサンもオバチャンも、ヤンキーのお兄ちゃんもイケイケギャルも、みんな子供の頃に戻ったような、そんな表情である。5,000発も上げたらいいくらいかかるのか気にならないこともないが、真夏の一夜、こんなに沢山の人がこんなにいい顔になれるなんて、やっぱり花火っていいもんだなあ、とちよっぴり感動した。

## ゆいどんしょ 有意言書 (卒業するにあたって)



来年3月で卒業予定の皆様これだけは会員に言い残したいという思いをおおい書き残してもらおうという企画。

H2.1入会 地域事業委員長 円能寺 隆

私が青年協会にたずさわってきた中で一番の思い出は、やはりなんといってもくんち事業である。くんちの設営をしだして8年間が過ぎ、その中からいろんな事を勉強させてもらった。その中から後輩たちに伝え残すことを2、3点書き残したい。

まず青年協会がする事業の設営は、基本的にまず自分達で築き上げる事である。自分達で築き上げるという事は、会員の手作りであるという事である。会員で築き上げるという事は簡単に出来る設営であるという事である。簡単に自分達の手で築き上げたものは、自分達の手で簡単に撤去、片付けができるという事である。

上記に述べた事を設営の基本姿勢として、後は肉付け、色付けをしていってほしいものである。

最後に、設営及び他の事業においてでも同じであるが、肉体的に強くなければいけないと思う。日頃より肉体をきたえて、きたえた肉体の中で、事業他にとりくんでいってほしい。健全な肉体には、健全な精神がやどるとい言葉や言葉を頭の中に入れて、各事業に参加する時は、健全な精神の中で、各人それぞれが、いろんな事業に参加して欲しいものである。よろしくお願いします♡

## H6.2入会 渉外委員会 井上 英夫

私は平成6年の入会で今年で5年目になります。ふりかえてみると仕事を優先すると、なかなか協会の事業に参加することがむずかしくやれるかぎり参加しようと思っていましたが、結果的にあまり参加できなかったことは残念に思っています。

しかし、委員会などに行くあまり出席できなかった私にでもあたたかく委員会のメンバーは接してくれて本当にうれしく思っております。又いろんな人たちと出会えることは私にとって財産になりました。

まだまだ青年協会の本当のよさというものは感じきっていませんが協会に入っているんな意味で勉強になりました。ありがとうございました。

## 「ちょっと聞いて良かですか？」

7月の例会に出席した会員75名に聞きました。(有効回答62名)

Q 1. 先日行われた参院選、投票しましたか？

・投票した 41人 ・投票していない 21人

Q 2. 後1年と迫った「ノストラダムスの大予言」1999年7の月あなたは信じますか？

・何かが起こる 24人 ・何も起こらない 33人  
 ・その他 5人 (人類に警告 誰かが何かを起こしちゃう 不安はある  
 何も起こらない事を祈る 環境の変化か公害などで偶然起こる？等)

Q 3. エルニーニョ現象やラニーニャ現象等の異常気象知っていますか？

エルニーニョ現象 ・知っている 60人 ・知らない 2人  
 ラニーニャ現象 ・知っている 29人 ・知らない 33人  
 異常気象を感じますか？ ・感じる 48人 ・感じない 7人

Q 4. 噂の「バイアグラ」どう思いますか？

・それって何？ 8人 ・欲しい(使いたい) 16人 ・欲しくない 28人  
 ・持っている 1人  
 ・その他(必要ないもんね 1度試してみたい 高価すぎる 80~90になったら欲しい  
 まだ大丈夫 等)

Q 5. 今年度のスローガンは、「共に夢を語り合い自信を持って行動しよう」ですが実践していますか？  
 又、実感していますか？

・実践している 8人 ・実践しようと思う 28人 ・実践していない 5人  
 ・実感できる 3人 ・多少実感できる 13人 ・実感できない 10人  
 ・その他(今からします)

Q 6. 会員に投げかけたい質問があればお書きください。

(質問コーナーだったので……言いたい放題のコーナーのようになって来ました)  
 ・皆でしたいことは何？教えて～ ・事業の夏を乗り切ろう ・楽しいか  
 ・がんばってますか ・いつ仕事をしているのですか ・今日の例会は良かった  
 ・元気を出そう ・お盆ですお墓参りには行ってますか ・飲み会をしよう  
 ・出てこない人は会員として楽しいですか ・有言不実行の人がいる  
 ・仕事があつての協会なのに事業の負担が大きすぎる、特にこのご時世は  
 ・誰かノート型パソコンを譲ってください

オイにも

**30周年担当よりお知らせだ!!****日蘭おもしろクイズ****なんでんかんでんもの知り王者決定戦**

来る平成10年12月5日(土)、長崎ブリックホール国際会議場にて、30周年記念事業「日蘭おもしろクイズ・なんでんかんでんもの知り王者決定戦」が開催される。

企画の趣旨は、「西暦2000年」に、日蘭交流400周年を迎えるにあたり、日本とオランダの交流というより、むしろ長崎とオランダの交流が最も深かった事は周知の事実であり、この記念すべき年を前に、我々青年協会としてその啓蒙を含めた事業を行ないたいという趣旨のもと、上記の事業を企画した。

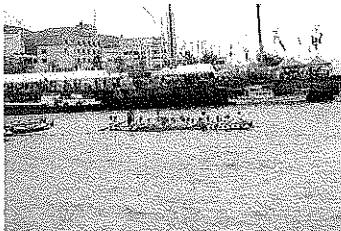
本年度当協会も30周年を迎え、関係諸団体並びにこれまでの基礎を築いて頂いたOB各位のご理解とご協力を得てこの事業を推進していきたいと考える。単なるクイズに留まらず、クイズを通して参加された方が、日蘭交流の歴史と意味を理解して頂ければと思う。現在、30周年担当として企画・広報・渉外と担当割をし、準備を進めている。

優勝賞品としてオランダ・ヨーロッパの旅(ペア)を目玉とし盛りだくさんの内容。クイズの内容としては、YES・NOクイズ、スクリーンによるビジュアル問題、パネル問題等、最後まで楽しめる内容を企画中。

今後日程がせまってきており、皆で知恵をしばってがんばりますので皆様のご協力をお願いしたい。

**海上イベント会場で見かけなかった企画委員会もペーロンでがんばったぞ!!****「留学生と市民の集い」インターナショナルチームでペーロンに参加!!**

さて、練習の成果は……? 総科大の先生のお世話で参加出来ました。有難うございました。国籍に関係無く、きつと皆さん貴重な体験だったでしょう。大変お疲れ様でした。



いざ出陣



ばちさばきもあざやか美女太鼓



全員集合

**僕ら、NYAの金のタマ〜ゴです!!**

7月の理事会に於いて、1人の入会が決まった。

※新入会員は、金の卵です。みんなで大切に育てましょう。(研修開発 松島健二)



氏名：末石 順君  
生年月日：S44.12.31  
勤務先：ソニー生命㈱  
趣味：水泳、格闘技観戦  
自己PR：酒をこよなく愛しています。



新人研修中の松島委員長と森君

# 言わせろ!!

## 目指せ 満点 委員会

渉外委員会の巻

今回は「サマーキャンプ'98」を煮詰めているところにおじゃましました。出席者は、前田君、野田君、松尾君、沖迫君、原君、安野君、写真には写っていませんが、遅れて岸本君も参加し計7名。又、前回の委員会では、木屋君、木下君も参加し7名かなり熱く委員会が繰り広げられていました。決まった方ばかりの出席する委員会が多い中、満遍なく皆さんの参加があり感心しました。そこで採点ですが2回の平均点は

**63点**

もうすこしがんばりましょう。



それから皆さんに、室長と委員会よりメッセージを預かってきています。

晩夏の候皆さん！体調の方はいかがでしょうか？みなとまつりもアツという間に終わりいよいよ来る8月22、23日の「元気っ子生まれ！サマーキャンプ'98」に向けて夜遅くまで作戦会議を行っています。今年は30周年企画として、参加者も180名を上回り約200名を迎え撃つ予定です。その子供たちを引き連れ伊王島に乗り込み、島内オリエンテーリング、コンピューターを駆使した天体観測、飛帆での軍艦島クルーズ等を盛り込んだキャンプを行います。

ここまでは良かったのですが、企画を煮詰めるにつれ200名と言う数の多さに作戦会議も難航し、特に食事に関しては半端な数ではありません、そして「安全第一」子供たちを無事に長崎に連れて帰る義務が私たちにはあります、その為には1人でも多くの人の力が必要です。大変忙しいとは思いますが、奮っての参加をお願い致します。

## 同好会案内

### ▶野球同好会「ホームランカップ」出場

7月9日 VSチームTRS戦 6-4で一回戦突破！

8月1日 VSモンゴルマン戦 3-7で二回戦敗退！

### 詩上法人長崎川柳協会 (題：ぼん)

ボンとなる 花火見たいが ゴミひろい  
(ヨッ!!青年協会)

煩悩が 常に渦巻く 独身者  
(既婚者にもおるぞ!!)

サービス業 僕には来ない 盆休み  
(働け働け!!)

金融が ボンと弾けて みな笑う  
(アッハッハ笑えんなあ~)

盆休み 思いながらも くんちな  
(アッハッハ)

今回は企画委員会の皆さんです。  
お盆の帰省ラッシュ 遊びに行くものには いい迷惑  
(記録的字あまり)

盆暮は 金がなくなり 貧暮し  
(いつもなか!!)

盆灯 送ったあの日 祖父思う  
(こりゃ俳句じゃ!!)

投稿作品

長崎に

ボンと鳴らない

時計あり



# 長崎青年協会の知ってるつもり

## 青少年育成事業

青少年育成事業は、意外と歴史は浅く、第23年度（劉会長、岩満委員長）の時に始まった。以降、事業として記録に残らなかった年度もあるが、継続事業として今日に至っている。内容としては、宿泊体験、文化財清掃、もちつき等のイベントが大半を占めている。冒頭に歴史は浅いと述べたが、個々のイベントで考えると、対象者が別の形であったり、会員内部で行って来た単発の事業としてはかなり昔から存在した。その個々のイベントを1年間を通したシリーズ事業としてとらえ、「将来の長崎を担う小学生を対象に、長崎の文化・歴史・芸能・地理等の素晴らしさを知ってもらおうと共に、郷土長崎により一層の愛着を持ち、将来の長崎に夢を持ってもらうことができればという思いで、事業のネーミングを『大好き長崎なるほどセミナー』とし、年間5回の事業を行った」（当時の委員長：岩満君の弁）最初の年がこの年なのである。

それぞれの年度のイベントには、下記の一覧を見てもらえば分かるとおおり、今の子供達が家庭や学校では学べない貴重な体験をさせたいという、その年々の担当委員会（委員長）のカラーやこだわりがある。また、相当なる苦勞もうかがえる。しかし、参加した子供達は、よろこんでいるだろうか？満足しているだろうか？我々の自己満足に留まってははいないだろうか？時々そう考えることもあるが、毎年、参加者のかたから何通かのお礼の手紙がきていることも申し添えておく。

さて、今年度も今月から青少年育成事業が始まる。乞うご期待！

## 歴代青少年育成事業

年度	西暦	会長	担当委員長	イベント等
23	1991	劉 濟才	岩満 克弥	大好き長崎なるほどセミナー 飛帆による体験航海学習 おくんち前夜祭 クリーン文化探検隊 もちつき大会 修了セミナー
24	1992	船越 正治	平山 英則	大好き長崎なるほどセミナー 飛帆による体験航海学習 文化財清掃ウォークラリー もちつき 修了式
25	1993	森 保博	合六 忠	大好き長崎なるほどセミナー 親子田植えセミナー 伊王島ふれあい宿泊体験セミナー 秋の収穫祭セミナー 修了式
26	1994	桑田 啓伍		なし（第1回ふうせんパレーin長崎のため）
27	1995	新ヶ江憲和		なし（内部充実をはかるため）
28	1996	田川 俊幸	清水 昭雄	シリーズタイトルは特になし ふれあいクルーズ くんち広場前夜祭 もちつき
29	1997	川原 哲也	地島 秀	待っどっけん「〇〇〇〇」 サマーキャンプ'97 文化財清掃 修了式
30	1998	和田 正信	前田 哲也	乞うご期待！